

北九州マラソン2026について

1 大会概要

(1)開催日時	令和8年2月15日(日)								
(2)主催	北九州市、(一財)北九州市陸上競技協会								
(3)種目・参加人数	<table> <tr> <td>マラソン</td><td>10,800人</td></tr> <tr> <td>ペアリレーマラソン</td><td>250組500人</td></tr> <tr> <td>ファンラン</td><td>800人</td></tr> <tr> <td>20.7km マラソン</td><td>250人</td></tr> </table>	マラソン	10,800人	ペアリレーマラソン	250組500人	ファンラン	800人	20.7km マラソン	250人
マラソン	10,800人								
ペアリレーマラソン	250組500人								
ファンラン	800人								
20.7km マラソン	250人								
(4)制限時間	6時間								
(5)コース	北九州市役所前をスタートし、八幡東区東田・戸畠駅前・東港を通って、門司港を折り返し、北九州国際会議場前をフィニッシュとする。								

2 ランナー募集結果

応募者総数(4種目合計) 18,271人

種目(定員)	2026 大会 (A)	2025大会 (B)	前回大会との比較 (A)-(B)
マラソン (10,800人)	15,293	11,848	+3,445(1.29倍)
ペアリレーマラソン (250組)	271	255	+16(1.06倍)
20.7 kmマラソン (250人)	1,427	927	+500(1.54倍)
ファンラン (800人)	1,280	896	+384(1.43倍)
合計	18,271	13,926	+4,345(1.31倍)

※ 1次募集比較



2026大会の準備状況について

ランナーの満足度向上

1 エイドステーション・おもてなしフードの充実

新規給食が8種類、前回大会から增量が6種類



マフィン



はちみつレモンキャンディ



ぬかだき

2 アスリートビブス事前送付枠の新設

前日受付不要の事前送付枠(希望有料制)を新設(応募者469名)

3 メインビジュアル

- ・今大会のメインビジュアルにメーテルを起用
- ・公式ホームページやポスター等に展開

4 タオル・メダルの見直し

タオルのサイズアップと完走メダルのデザイン見直し



5 スポーツ振興ランナー(ふるさと納税)枠の拡充

これまでのお礼品(市外在住者)やアスリートビブス事前送付に加え、今回、ふるさと納税枠の参加料を1万円に値下げ【応募者:115名→462名へ大幅増】

6 ランナー募集期間の延長、複数種目へのダブルエントリー

ランナー募集の期間延長やフルマラソンと 20.7 kmマラソンのダブルエントリー可により、エントリーの機会を十分に確保

7 SNSを活用した情報発信

大会ゲストによる PR 動画や給食紹介等、北九州マラソンの魅力を随时発信

8 公式グッズ販売(オンライン)

アスリートビブス留め、アスリートビブス留めホルダーをオプション販売



9 記念サービスの実施(継続)

子育て交流プラザ「元気のもり」での託児サービスを継続実施

10 台湾・高雄市との友好交流

台湾・高雄富邦マラソンとの覚書に基づき、高雄市政府職員を北九州マラソンへ招待

「見る人」「支える人」も満足できる大会運営

1 有名・著名なゲストの招聘

- ・観光大使の光石研さん、前田佳織里さんをはじめ、人気ユーチューバーや実業団ランナーを招聘
- ・EXPOステージでは式典やトークショーを開催

2 若きリーダー(ボランティアリーダーなど)の養成

若いリーダーの育成促進として、ボランティアリーダーを希望する意欲ある若者に對し、資格取得のための研修受講料を補助

3 応援イベントの実施

コース沿道の応援スポットで実施する「フレフレ! ガンバレー!! 応援ステーション」の実施



4 横断歩行者対策

横断希望者を安全に横断させるため、市職員を配置した横断スポットを設置

5 「あさの汐風公園」での併催イベント開催

あさの汐風公園においてキッチンカー出店やキッズマラソンなどを開催

エコフレンドリーな大会の実現

1 不要な衣類や安全ピンの回収

リサイクルボックスを設置し、着なくなったTシャツや使わないゼッケン止め用の安全ピンを回収

2 紙コップごみの削減

紙コップのごみ廃棄を減らすため、マイカップチャレンジを実施

3 ペットボトルの回収

給水所から出るペットボトルを分別回収しリサイクル

4 食品ロスの対策

- ・余った給食を子ども食堂などに提供
- ・協賛提供の無料食事券をボランティアに配布し、弁当の廃棄ロスを削減

5 スタッフウェアの回収・再利用

これまで渡しきりであった市職員用スタッフブルゾンの回収・再利用

6 廃材の活用

「入賞者トロフィー」に北九州市産の木材(端材)を活用



7 募集案内や開催案内等のデジタル化

参加者宛の紙資料を電子化するなど、ペーパーレス化を推進

大会ゲスト、ゲストランナー、招待選手

【スペシャルゲスト】 前田佳織里（北九州市観光大使、声優）

【大会ゲスト】 増田明美(スポーツジャーナリスト)

中本健太郎(安川電機陸上部監督)

池内彩乃(デンソー女子陸上長距離部)

【ゲストランナー】

<フルマラソン>

こわだ君(マラソン YouTuber)

ウルトラランナーみやこ(マラソン・トレイルランナー)

柴田佑希(ダイハツ陸上競技部)

<20.7kmマラソン>

光石研(北九州市観光大使、俳優)

西田たかのり(タレント)

設楽悠太(西鉄陸上競技部)

今田麻里絵(希望が丘高校女子駅伝部監督)

<ファンラン>

おばたのお兄さん(お笑いタレント)

設楽啓太(西鉄陸上競技部)

【招待選手】 北島寿典(希望が丘高校駅伝部コーチ)

大会ゲスト・ゲストランナーによる大会公式 SNS での情報発信

・スペシャルゲスト 前田佳織里さん



前田さんによる
・スペシャルゲスト就任のお知らせ
・ランナーへの応援メッセージ

・大会ゲスト 池内彩乃さん



池内さんによる
・沿道応援やエイドステーションなど、
北九州マラソンの魅力や大会に向けた意気込み

・ゲストランナー おばたのお兄さん



おばたのお兄さんによる
・ファンラン出場とトークショー出演
のお知らせ